

「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」完成報告、協定式及び記念講演

平成29年5月31日(水)に平取町において「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」完成報告、協定式及び記念講演を開催しました。

タイムラインは沙流川平取地区で水害発生の可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して状況に合わせて防災行動をとるための新しい防災計画です。平取町では、沙流川の氾濫を想定して、平成27年度より6回に渡る検討会などを行い、本年3月に「沙流川平取地区水害タイムライン試行版」を策定。このたび検討会事務局の3機関がタイムライン運用に向けた協定を締結しました。



【実施日時】 平成29年5月31日(水) 13:30~14:30

【実施場所】 平取町中央公民館 大ホール

【参加者】 沙流川流域の防災関係機関 21機関 70名

※座長・副座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会の様子

開会にあたり、室蘭開発建設部の平野部長から、道内で2ヶ所目の試行版策定となったこの「平取地区水害タイムライン」が、平取地域の水災害に対する防災力向上につながることを期待するとの挨拶がありました。



タイムラインについて

室蘭開発建設部の天野治水課長より「タイムライン試行版の検討経緯と概要」についての説明があり、続いて、室蘭地方気象台の田辺防災管理官より、「タイムライン試行版の運用方針」についての説明が行われました。



協定式

はじめに「沙流川平取地区水害タイムラインに基づく連携に関する協定」が読み上げられ、その後平取町の川上町長、室蘭開発建設部の平野部長、室蘭地方気象台の加賀台長の3者による協定書への署名が取り交わされて、タイムライン運用協定の発効が宣言されました。



平取町長挨拶

協定締結後、川上町長からハード対策と並行してソフト対策であるこのタイムライン試行版が策定されたことは大きな意味があり、今後も継続して関係機関の方々と、試行版の熟度を高めていきたいとのご挨拶がありました。



記念講演

検討会の座長を務められた東京大学大学院情報学環の松尾客員教授より、「全国のタイムライン運用状況と平取タイムラインへの期待」について講演が行われました。講演では、他地域のタイムライン運用のための協議の様子などが紹介されたほか、タイムラインは運用と検証、改善の繰り返しで重要で、それを終わりになく続けることが大切であるとのお話がありました。



閉会の様子

最後に、室蘭地方気象台の加賀台長から、関係する皆様方のご協力により常に有効で実質的なタイムラインへと育て続けていただきたいとのご挨拶があり、閉会となりました。

